

Advencedページを使用したAuto Unicast接続

Horus とASIO ドライバーを使用して例を示します。

1. MTDiscoveryで、必要なハードウェア デバイス (この例では Horus) を右クリックし、[詳細を開く]を選 択します。



- 2. Session Source タブに移動
- 3. 左側のペインで、 パボタンをクリックします。 パ
- 4. 物理入力を選択し、接続に適当な名前を付けます。
- 5. "retreive unicast address+port from sink (RTSP)"「sink から unicast address と port を取得 する」チェックボックスにチェックを入れます。

"Address undefined"「アドレスが未定義です」というエラー メッセージが表示されますが、この段階 では正常です。

Configuration

Ю	A/D 3 💌
Name	Horus_AD
Advertise	\checkmark
Auto-unicast	retreive unicast address+port from sink (RTSP)
Address	
TTL	15
Payload Type	98
Codec	L24 •
Frame size (samples)	256
DSCP	34 (AF41) 🔻
RefClk PTP traceable	
Channels	Channel count 8
	1-8

|--|

6. MTDiscoveryに戻り、必要なソフトウェアデバイス(この例ではASIO)を右クリックし、Openを選択し ます。

注:ASIOホストまたはMassCoreアプリケーションを起動する必要があります。



- 7. Session sinks に移動します。
- 8. 左側のペインで、 メボタンをクリックします。
- 9. 接続にラベルを付けます。



10. Source フィールドの横にある矢印をクリックしてください。

利用可能なソースが一覧表示されるので、必要なものを選択してください。 <u>制限事項</u>: auto-unicast は SAPソースでは機能しません。sap:// で始まるソースは選択しないでくだ さい。

Configuration		
IO Label	Audio Device 🔻	
Source Delay (samples) Ignore refclk GMID	Horus_AD sap://Horus_AD)
Channels	Channel count 0	

11. チャンネル数は自動的に調整されます(Count adapted オプション)。

接続アイコンが緑色に変わり、ステータスが "receiving RTX packets"「RTX パケットを受信中」に 変わります。

Mic inputs	Session Info	
	RTP status RTSP Host	
Mic inputs	Session Info	
	RTP status RTSP Host	0x10: receiving RTP packets 169.254.25.20

12. ハードウェアデバイスの Session source ページに戻ると、接続アイコンも緑色になっています。 auto-unicast メカニズムにより、sink の unicast IPアドレスが自動的に追加されています。

Auto-unicast	retrieve unicast address+port from sink (RTSP)
Address	
Auto-unicast	✓ retrieve unicast address+port from sink (RTSP)
Address	169.254.25.20:5432

13. 同じ操作をソフトウェア デバイスの Session source(この例では ASIO) からハードウェア デバイスの Session sink(Horus)に対して行って下さい。

